アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No. 92／ 2014 年 9 月

秋の気配がすこしずつ近づいてきました.「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」 第92号をお届けします.

【1】10月AP研のご案内

10月のAP研は10/15～17の三日間開催で, 北海道大学クラーク会館にて, 無線電力伝送研究会(WPT研)と併催, IEEE AP-S Tokyo Chapter共催で行われます. A・P研チュートリアル講演として, KDDI研究所の渡辺 文夫氏をお招きして,「移動体通信システムの最新動向 ～ アンテナ・伝播への期待 ～」という興味深いタイトルで御講演頂きます. 皆様, どうぞふるってご参加ください.

【2】12月AP研のご案内

1年の最後を締めくくる12月のAP研は12/11に機械振興会館にてIEEE AP-S Tokyo Chapter共催で開催します. 関東近郊の方をはじめ, 皆様の積極的なご投稿をお待ちしております.

【3】2015年1月AP研のご案内

新年を迎えた2015年1月のAP研は1/22, 23に, 愛媛大学城北キャンパスにてIEEE AP-S Kansai Chapter, URSI-F, IEEE Shikoku Section共催で開催します. 寒い時期ですが, 活発な熱い議論を交わし, 疲れた心と身体を道後温泉で癒すなど, いかがでしょうか？こちらも積極的なご投稿をお待ちしております.

【4】無線で未来を描き続けるアンテナ・伝搬ならびにその関連システムの論文特集(和文論文誌B)の論文募集のご案内

これまで, 無線技術を用いた携帯電話や高画質放送などは, 現在の生活の基盤となってきました. そしてこれからは, 高齢化, 国際化, 防災, 防犯, 言語の壁, エネルギー供給などの課題の解決に, 無線技術が引き続き未来の生活の基盤となるものと考えられます. そこで, “無線で未来を描き続けるアンテナ・伝搬の技術ならびにその関連システムの論文特集”と題して最新の研究成果について, 論文を募集します(2015年9月号).

投稿締切: 2015年1月6日(火) 厳守
第1回判定通知:2015年2月下旬を予定
最終判定通知: 2015年5月中旬を予定
発行月: 2015年9月号
http://www.ieice.org/jpn/books/ronbuntokushu/cfp_JB_2015.9.pdf

皆様の積極的なご投稿をお願いします.

【5】2015 Vietnam-Japan International Symposium on Antennas and Propagation(VJISAP2015)のご案内

本年1月にベトナム・ハノイにて第1回のVJISAP2014が開催され, 沢山の方にご参加いただきました. そこで2015年1月にホーチミン市にて第2回VJISAP2015を以下のとおり開催する運びとなりました. ホーチミン市へは日本各地から直行便も飛んでおります. 次回のVJISAP2015へも皆様奮ってご投稿・ご参加ください.

会期:2015年1月7日～9日

場所： Posts & Telecommunications Institute of Technology, HCMC Branch
Ho Chi Minh City, Vietnam
発表題目締切：2014年10月10日
原稿締切： 2014年11月30日

本会議では，アンテナ設計，測定，アレーアンテナ，無線通信関係のチュートリアル講演を予定しています．会議の詳細はAP研ホームページ(http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/)にてご確認下さい．

【6】副委員長の戯言

AP研のアジア連携の更なる拡大を進めるため，8月にAP研執行部とマレーシアのAP関連研究者との意見交換会を実施しました．マレーシアと日本の交流は密接であり，2011年にマレーシア工科大学(UTM：Universiti Teknologi, Malaysia)のクアラルンプールキャンパス内に，マレーシア日本国際工科院（MJIIT: Malaysia-Japan International Institute of Technology）が開設され，日本から約20名の研究員が常駐しています．このたび防衛大学校名誉教授の山田吉英教授がMJIITに赴任されたことを機に，本意見交換会が開催されました．マレーシア側はDr. Mohd Khairul Mohd Salleh (IEEE AP/MTT/EMC Joint Chapter Chair)をはじめ4名が参加し，今後の連携について議論しました．議論の結果，まずは小規模の会議を来年開催し，その後広く投稿を呼びかける会議開催に展開していくこととなりました．今後マレーシアでもAP研の海外開催が企画されますので，ご期待ください．

今回，クアラルンプール（クアラ・ルンプールと切り，KLと略されています）へ初めて行きましたが，想像以上の大都市で驚きました．KLとは濁った川が交わる場所，という意味で，スズの鉱山で発展した町だそうです．宗教上飲酒はできないと聞いていましたが，実際に行ってみるとKLの中心部は他の都市と何も変わりませんでした．周囲から入る情報での印象と実際は大きく違いますね．やはり実際に見てみることが重要だと改めて思いました．マレーシアは親日の国で，空港や街中には日本語の案内もあり，東京ストリートという日本のショッピング街もありました．KLの観光名所として，ツインタワーでは世界一の高さを誇るペトロナスツインタワー(452m)があります．このタワーは，一方を日本企業が，他方を韓国企業が担当し，両タワーを接続するブリッジをフランスの企業が担当して建設されたそうです．ブリッジと韓国側タワーの展望フロアを観覧するツアに参加しましたが，KLの市街を一望でき一見の価値がありました．またタワーを連結するブリッジは微妙に揺れを感じ，スリルも満点でした． AP研開催の際にはぜひ体験されるとよいと思います．

マレーシアメンバとのミーティング

MJIIT

ペトロナスツインタワー

〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長　長　敬三（千葉工大）
E-mail：ap_ac-chair@mail.ieice.org (AP研執行部のメールアドレス)
AP-NET：AP研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はAP研HPにて
AP研HP：http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/
ISAP Archives： http://ap-s.ei.tuat.ac.jp/isapx/